

「SDGs未来都市」壱岐市の取組

持続可能なまちづくりに向けて

nagasaki topics

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇、その他様々な問題に対して、今後も人類が安定して暮らすために立場を越えて全ての人が行動する具体的な目標として示されました。2030年までに達成すべき17の目標から構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



壱岐市は、平成30年に国から「SDGs未来都市」に選ばれ、SDGs達成に向けて様々な取組を行っています。その一部を紹介します。



先進技術と交流による壱岐活き対話型社会 「壱岐(粋)なSociety5.0」

ねらい

- ・IoTやAI、自動運転等の先進技術の活用により農業生産の効率化と収益性を高め、第1次産業従事者を増やす
- ・テレワークができる人材を育てることで、壱岐市にIT企業の雇用を増やす
- ・住民主体の対話会を通じて壱岐市の未来について語り合い、自らが主体となって実現したいテーマに取り組む など



住民による対話会のようす (提供:壱岐市)



気候非常事態宣言による脱炭素社会の実現

ねらい

- ・省エネやごみの減量化(4R)を徹底して進める
- ・太陽光や風力などの地域資源を使った再生可能エネルギーと水素発電を活用し、2050年までに市内のCO₂排出量の実質ゼロをめざす など

持続可能なふるさとをつくるために、私たちに何ができるかを、学校や家庭で話し合ってみましょう。

長崎県SDGs学習サイト <https://nagasakiisdgclub.com/digital-textbook/>